



仲間と共に

校長 石田 耕太郎

アンケート結果を、よりよい教育活動の改善につなげます

今年度も14項目の内容について保護者にアンケートを行いました。昨年度との比較はアフターコロナということもあり、単純にはできませんが、傾向として成果と課題を下記の通り捉えています。

今年度は、昨年度に引き続き12の人権課題に対する教育に重きを置き、学校生活全般を通して人権感覚を磨くことや12の人権課題について理解することを様々な活動を通して実践してきました。また、行事や体験活動を見直しながらよりよい形で実施できたことや新しい取り組みに挑戦できたことは、児童が自己肯定感を高め、学校に楽しく通う要因になったと考えています。

岐阜市としては、タブレット端末の推進がますます図られた年でもあります。これまでの学習スタイルを大切にしながらもICT機器を有効に活用し、仲間とともにのびのびと活動したり、生き生きと交流し表現したりできるためのさらなる工夫や知恵を絞ることが今後の学校教育の果たすべき務めであると考えています。

【成果：充実してきた内容】

4段階評価の「4・よくはてはまる」「3・あてはまる」の割合を昨年度と比較した結果、次の内容が、より充実してきたと捉えています。

	内 容	「4・よくはてはまる」「3・あてはまる」と回答した割合		
		R5	R4	割合変化
2	子供は目当てをもって学校生活に取り組んでいる。	81.8	78.2	+3.6
7	子供は「話す・聞く」などの基本的な学習姿勢を身につけ、授業の中で「できた」「わかった」を味わうとともに自分の考えを伝え合う態度や表現する力を高めている。	88.1	86.6	+1.5
6	子供は、タブレット端末の約束を理解し、適切に使用することで学習効果をあげている。	75.9	73.7	+2.2
11	学校は地域と連携してふるさとへの誇りと愛着をもつことができる教育活動に取り組んでいる。	86.5	85.0	+1.5
12	学校はいじめ問題や命の大切さを伝えたりすることを大切に、取り組んでいる。	93.3	92.0	+1.3

子供たちは一日の始まりから、「今日の目当て」を確認し、学習には課題を明確にして取り組んでいます。取組を振り返ることで自身の頑張りや成長が自覚できます。こうしたことを積み重ねながら力をつけています。そのような「目当てをもつ」という小さな繰り返しが無意識での活動に比べ大きな違いを生むこととなります。子供たちの中よき習慣が定着しつつあることはうれしいことだと感じています。

タブレット端末については、メリット・デメリット双方あることについてきちんと理解し、子供たちが自律的に付き合っていくための支援を学校として行っています。今年度はロイロノートとスタディーサプリの導入で日常的に使用することが多くなりました。ここタンの推進で学習だけでなく、心の健康についても一人一人が管理できるようになってきました。学校生活で効果的に活用する機会が増えるにつれ、子供たちの中にも、学習道具としての位置づけができてきていると感じています。

【課題：今後充実させたい内容】

	内 容	「4・よくはてはまる」「3・あてはまる」と回答した割合		
		R5	R4	割合変化
4	子供は健康安全に関する基本的な習慣（はんかち、はなかみ、廊下歩行、ご家庭での歯磨き）を身につけ、落ち着いた学校生活をしている。	87.8%	93.2	-5.4
7	子供は英語学習に親しみ、異文化等に興味関心を高めている。	71.8	75.1	-3.3

コロナ禍では、感染予防としての衛生管理（手洗い、マスク、ソーシャルディスタンス等）が徹底されました。今年度アフターコロナとして手指の消毒やマスクの着用などはその必要性を踏まえて緩和傾向になりました。一方、廊下での不要な接触やハンカチやはなかみの不携帯が課題となってきています。学校では全校で「今月の目当て」として廊下歩行やトイレのスリッパそろえなど基本的な生活習慣に関わる指導をこれまでも行ってきています。また、委員会のキャンペーンや各クラスのかかり活動などを中心に様々な取組も行っています。これらの取組を通して基本的な生活習慣の育成を継続していきます。

英語学習は岐阜市が久しく力を入れている学習です。1年生からALTの先生と学習できる環境が整っています。子供たちはALTの先生と自然に関わり、ALTの先生の母国の話を興味深く聞いています。高学年になると、ヒアリングの力も高く、10年前の様子とはずいぶん違いを感じることもあります。しかし、ALTの先生に授業の様子を聞くと、これからの英語学習についてヒントとなることがありました。「子供たちにとって身近に英語を使ってコミュニケーションをとる友達がいる場合は、その必要性から積極的に覚えたり、使ったりできます。恥ずかしがらずに、どんどん自分が話したいことを会話することが英語力の育成には大切です。」ALTの先生からは、ゲームやアクティビティを充実させて会話の機会を増やすようにしていきたいですね。」と今後について話していただいています。学校としても今後はこうした面にも力を入れていきたいと思えます。

【成果：90%以上が継続している内容】

4段階評価の「4・よくはてはまる」「3・あてはまる」の割合が90%以上が連続して続いている内容は、本校の強みと捉えています。

	内 容	「4・よくはてはまる」「3・あてはまる」と回答した割合		
		R5	R4	R3
1	子供は楽しく学校に通っている。	93.8	94.2	90.1
3	子供は社会生活に必要な挨拶、掃除、時間を守るなどの基本的な考え方やルールを理解し、身につけている。	92.2	91.5	90.6
5	子供は、学級の仲間を大切にし、みんなで力を合わせて活動し、自他の良さを感じている。	94.1	94.1	91.8
6	子供は道徳の時間、総合的な学習の時間、人権学習を通して、自分を見つめる力と他を思いやる心が育っている。	91.3	92.0	90.1
1 2	学校はいじめ問題や命の大切さを伝えたりすることを大切にし、取り組んでいる。	93.3	92.0	91.1

上記の5項目について3年連続の90%以上という評価をいただき、大変うれしく思っています。挨拶にしても自他の良さを見つけることにしても当たり前のことを当たり前に実践し続けることで培える力であると思えます。保護者、地域、学校が同じ方向性をもって子供たちに関わっていることも大きな要因だと感じます。本当に皆様のご理解とご協力に感謝いたします。